



さぬき市でイキイキと働いたり、暮らしている人たちを紹介します。
今回は津田にある日本ドルフィンセンターの藤井楓さんです。

■お仕事は？

イルカと人をつなぐドルフィンキーパーという仕事です。遊びやふれあいを通して、イルカの可愛さや賢さを安全に楽しく伝えます。海の安全確認や掃除、イルカの健康チェック、トレーニング、来場者向けプログラム、環境学習イベントを行っています。



ドルフィンキーパーの藤井さん

■水族館との違いは？

「見せる」中心の水族館に対して、ここは「ふれあう」ことが主となっています。練習中の技も解説しながら見てもらいます。またここでは海に流れ着くゴミの話やビーチクリーンを体験します。ゴミを見つけて運ぶことができるイルカの様子も紹介します。

■どんなふれあいができますか？

夏は水しぶきを浴びるようなプログラム、冬はイルカと握手したり、イルカがほっぺにキスをしたりして写真を撮るなど。優しいタッチで人に近づけるよう練習を重ねて、安全に行えるようにしています。

■チームの体制は？

若いメンバー中心に今は五人ほです。役割を分け、困った時はすぐ相談。お客さんの安全と笑顔を第一に動きます。毎月、スタッフ全員で案を出し合って季節に合わせた写真企画やスタンブカードなど、楽しみ方を



取材陣もふれあい体験

増やします。

■仕事の好きなところ、大変なところは？

イルカの成長を毎日見られ、イルカとふれあった子どもたちの笑顔にも立ち会えることです。地域の方と話すのも好きです。大変なところは、自然の海を活用しているので、クラゲ対策や網のメンテナンスなど、力仕事が多いところでしょうか。

■ドルフィンキーパーをめざしたきっかけは？

子どもの頃のイルカとのふれあい体験が原点です。私は自然が大好きで、虫や魚を観察したり、家族と海や山へ出かけるのが楽しみでした。専門学校で学び、人とイルカの距離が近いこの仕事を選びました。



息ピッタリ♪

■藤井さんは兵庫県の出身だそうですね。

なぜさぬき市で働くと思ったのですか？

実はこういうふれあいメインの施設は兵庫にもあるんです。でも、いろいろな施設を見た中で、自分が直感的に一番「楽しい！」と思ったのがここだったんです。それに、実はここにいるカマイルカに一目惚れしたというのもあります。

■カマイルカ、初めて聞きました。

カマイルカは、背ビレが草を刈るカマに似ているので「カマイルカ」と呼ばれています。ここにはカマイルカと、全国で飼育数が最も多いバンドウイルカの2種類がいます。イルカにも性格があるので、個体によってトレーニング方法

が少し変わったりもするんです。

■それはぜひ間近で見たいです！ところで、藤井さんはお休みの日は何をしていますか？

家族が来たら、さぬき市周辺を案内します。おいしいうどん屋さんにも行きますし、山を歩いたり、自然を見て回るのが好きです。釣りが好きなので、海辺で過ごすことも多いです。

■さぬき市の好きなところは？

やっぱり海ですね。さぬき市の海は、冬は透明度が高く海底まで見え、夏は魚の種類が増えてとても賑やかです。津田の松原周辺のお店など自然と町が近いところも好きです。遠くから来てくれた子どもたちが「ここきれい！」と言ってくれるんですよ。

■見慣れている景色が実はかけがえないものなのですね。この記事を読んでいる人の中には、藤井さんのように将来の夢を見つけた、という子もいると思います。藤井さんが伝えたいことは？

最初から完璧な夢を持とうだなんて思わなくて大丈夫です。「なんとなく好き」から始めて、少しずつ「これとこれどっちが好きかな」と比べて選ぶことを繰り返していくと、自分の道が見えてきます。私はやる気だけで進んできたタイプですが、あきらめずに続ければきっと夢は近づいてきます。



ショップのレジもこなします

■最後にさぬき市の子どもたちにメッセージをお願いします。

みんなの住むさぬき市には、きれいな海とたくさん生き物がいます。ぜひ海をよく見てください。ゴミ拾いなどで海も生き物も守れます。ドルフィンセンターでの経験が、みんなが自分のまちを誇りに思えるきっかけになれば嬉しいです。勉強や仕事などで市外に出た人にまたこのまちに帰ってきたいと思ってもらえるよう、一緒にさぬき市をもっと素敵な場所にしていきましょう！



さぬき市に住む小学生以下のお子さんは入場無料だそうです。ぜひイルカと藤井さんの笑顔に会いに行ってみてくださいね。



まってるよ！